現代社会学科<文化・国際コース>

第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		ディプロマ・ポリシー
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	

＜学部基幹科目＞
・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける

- ・公共性と社会
- ・現代社会論
- ・現代思想
- ・環境社会システム論
- ・20世紀の歴史
- ・現代日本社会史
- ・現代市民論

＜学科基礎科目＞
・社会学の基礎的知識・視点を身につける

- アカデミック・スキルズ
- ・社会学史（古典）
- ・社会学史（現代）
- ・現代社会学講読
- ・社会学原論
- ・社会思想史
- ・社会心理学
- ・家族社会学
- ・文化人類学
- ・コミュニケーションと社会
- ・社会調査論1
- ・現代社会学特殊講義1
- ・現代社会学外国文献研究1
- ・社会調査論2
- ・現代社会学特殊講義2
- ・現代社会学外国文献研究2

＜学科専攻科目＞
［共通］
・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける
・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活かし、卒業リポートを完成させる

- ・現代社会学ゼミ1
- ・現代社会学ゼミ2
- ・現代社会学卒業研究ゼミ1
- ・現代社会学卒業研究ゼミ2
- ・卒業リポート

＜学科専攻科目＞
［文化・国際コース］
・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・文化社会学
- ・国際社会論
- ・現代文化論
- ・消費文化論
- ・社会意識論
- ・宗教社会学
- ・現代宗教論
- ・現代国家論
- ・異文化理解
- ・エリアスタディ
- ・グローバル化論
- ・文化国際特殊講義1～4

＜学科専攻科目＞
［共生・臨床社会コース］
・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・共生の社会学
- ・臨床社会学
- ・社会階層論
- ・ジェンダー論
- ・マイノリティ論
- ・社会病理学
- ・逸脱行動論
- ・家族病理と臨床
- ・学校病理と臨床
- ・地域病理と臨床
- ・保健医療社会学
- ・カウンセリング論
- ・共生・臨床社会特殊講義1～4

＜学科専攻科目＞
［情報・メディアコース］
・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・情報・メディアとコミュニケーション
- ・情報社会論
- ・マスコミ論
- ・地域情報論
- ・広告・広報論
- ・メディア・リテラシー
- ・デジタル・メディア論
- ・メディア文化論
- ・情報通信ネットワーク論
- ・情報システム論
- ・情報・メディア特殊講義1～4
- ・情報・メディア実習1
- ・情報・メディア実習2

＜関連科目＞
・社会学に関連する知識や考え方を学ぶ

- ・日本史概論
- ・東洋史概論
- ・西洋史概論
- ・社会学概論
- ・法律学概論1
- ・倫理学概論
- ・宗教学概論
- ・経済学概論
- ・コンピューター論
- ・国際政治学
- ・日本仏教史（古代・中世）
- ・中国仏教史
- ・日本史特論
- ・法律学概論2
- ・哲学概論
- ・日本仏教史（鎌倉以降）
- ・人文地理学1
- ・自然地理学1
- ・地誌学1
- ・プロジェクト演習
- ・基礎統計学1
- ・地域経済論
- ・NPO法人マネジメント論
- ・中小企業論
- ・女性史
- ・現代社会と女性
- ・情報産業と職業
- ・情報メディアと社会
- ・ジャーナリズム論
- ・放送論
- ・情報犯罪論
- ・京都の産業
- ・人文地理学2
- ・自然地理学2
- ・地誌学2
- ・基礎統計学2
- ・社会調査法演習1～2
- ・調査研究演習1、3
- ・グローカル人材PBL
- ・情報システム実習
- ・情報ビジネス
- ・情報通信ネットワーク実習
- ・データ解析演習
- ・調査研究演習2

＜社会学部ディプロマ・ポリシー＞
D1.社会学または公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる
①社会学または公共政策の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している
②社会学または公共政策の領域の深い知識や技能を修得している
③社会学または公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる
④社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる
D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、社会学または公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる
D3.目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる

＜現代社会学科ディプロマ・ポリシー＞
D1.社会学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる
①変転する現代社会の多様な現象や問題に対して、自己を見失わず常識にとらわれない柔軟な見方ができるよう、社会学の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している
②グローバル化し多文化が共存する世界の中で、異なる文化や宗教に開かれた態度をとり、地域の課題に的確な判断を下すことができるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現すること
ができる
③差別やマイノリティをめぐる課題など、多様な社会問題について幅広い知見を有し、共生社会の実現に寄与できるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる
④現代社会で必要な情報リテラシーを身につけ、情報の賢明な受け手および送り手としてコミュニケーションできるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる

＜現代社会学科ディプロマ・ポリシー＞
D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる
D3. 目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる

- ・幅広い教養を獲得する
- ・専門分野を学ぶためのアカデミックスキルを身につける
- ・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける

- ・社会学の基礎的知識・視点を身につける
- ・各コース（「文化・国際」、「共生・臨床社会」、「情報・メディア」）の専門知識の基礎を身につける
- ・問題発見や課題解決のための方法を学ぶ

- ・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける
- ・各コースの専門知識を身につけ、社会学の理解をより深める
- ・現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活用し、卒業リポートを完成させる
- ・プレゼンテーション能力を身につける
- ・コミュニケーション能力を身につける

現代社会学科<共生・臨床社会コース>

	第1学年 第1セメスター	第1学年 第2セメスター	第2学年 第3セメスター	第2学年 第4セメスター	第3学年 第5セメスター	第3学年 第6セメスター	第4学年 第7セメスター	第4学年 第8セメスター	ディプロマ・ポリシー
＜学部基幹科目＞ ・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける	・公共性と社会 ・現代思想 ・環境社会システム論 ・20世紀の歴史	・現代社会論 ・現代日本社会史 ・現代市民論							＜社会学部ディプロマ・ポリシー＞ D1.社会学または公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる ①社会学または公共政策の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②社会学または公共政策の領域の深い知識や技能を修得している ③社会学または公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる ④社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、社会学または公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる D3.目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる
＜学科基礎科目＞ ・社会学の基礎的知識・視点を身につける	アカデミック・スキルズ		・社会学史（古典） ・現代社会学講読 ・社会学原論 ・社会思想史 ・社会心理学 ・家族社会学 ・文化人類学 ・コミュニケーションと社会 ・社会調査論1 ・現代社会学特殊講義1 ・現代社会学外国文献研究1	・社会学史（現代） ・社会調査論2 ・現代社会学特殊講義2 ・現代社会学外国文献研究2					
＜学科専攻科目＞ ［共通］ ・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける ・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活かし、卒業リポートを完成させる					・現代社会学ゼミ1	・現代社会学ゼミ2	・現代社会学卒業研究ゼミ1	・現代社会学卒業研究ゼミ2 ・卒業リポート	＜現代社会学科ディプロマ・ポリシー＞ D1.社会学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる ①変転する現代社会の多様な現象や問題に対して、自己を見失わず常識にとらわれない柔軟な見方ができるよう、社会学の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②グローバル化し多文化が共存する世界の中で、異なる文化や宗教に開かれた態度をとり、地域の課題に的確な判断を下すことができるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる ③差別やマイノリティをめぐる課題など、多様な社会問題について幅広い知見を有し、共生社会の実現に寄与できるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる ④現代社会で必要な情報リテラシーを身につけ、情報の賢明な受け手および送り手としてコミュニケーションできるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる
＜学科専攻科目＞ ［文化・国際コース］ ・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ			・文化社会学 ・国際社会論 ・現代文化論 ・消費文化論 ・社会意識論 ・宗教社会学 ・現代宗教論 ・現代国家論 ・異文化理解 ・エリアスタディ ・グローバル化論 ・文化国際特殊講義1～4						
＜学科専攻科目＞ ［共生・臨床社会コース］ ・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ			・共生の社会学 ・臨床社会学 ・社会階層論 ・ジェンダー論 ・マイノリティ論 ・社会病理学 ・逸脱行動論 ・家族病理と臨床 ・学校病理と臨床 ・地域病理と臨床 ・保健医療社会学 ・カウンセリング論 ・共生・臨床社会特殊講義1～4						
＜学科専攻科目＞ ［情報・メディアコース］ ・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ			・情報・メディアとコミュニケーション ・情報社会論 ・マスコミ論 ・地域情報論 ・広告・広報論 ・メディア・リテラシー ・デジタル・メディア論 ・メディア文化論 ・情報通信ネットワーク論 ・情報システム論 ・情報・メディア特殊講義1～4 ・情報・メディア実習1	・情報・メディア実習2					＜現代社会学科ディプロマ・ポリシー＞ D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる D3. 目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる
＜関連科目＞ ・社会学に関連する知識や考え方を学ぶ	・日本史概論 ・東洋史概論 ・西洋史概論 ・社会学概論 ・法律学概論1 ・倫理学概論 ・宗教学概論 ・経済学概論 ・コンピューター論 ・国際政治学 ・日本仏教史（古代・中世） ・中国仏教史	・日本史特論 ・法律学概論2 ・哲学概論 ・日本仏教史（鎌倉以降）	・人文地理学1 ・自然地理学1 ・地誌学1 ・プロジェクト演習 ・基礎統計学1 ・地域経済論 ・NPO法人マネジメント論 ・中小企業論 ・女性史 ・現代社会と女性 ・情報産業と職業 ・情報メディアと社会 ・ジャーナリズム論 ・放送論 ・情報犯罪論 ・京都の産業	・人文地理学2 ・自然地理学2 ・地誌学2 ・基礎統計学2	・社会調査法演習1～2 ・調査研究演習1、3 ・グローカル人材PBL ・情報システム実習 ・情報ビジネス ・情報通信ネットワーク実習	・データ解析演習 ・調査研究演習2		
	・幅広い教養を獲得する ・専門分野を学ぶためのアカデミックスキルを身につける ・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける		・社会学の基礎的知識・視点を身につける ・各コース（「文化・国際」、「共生・臨床社会」、「情報・メディア」）の専門知識の基礎を身につける ・問題発見や課題解決のための方法を学ぶ		・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける ・各コースの専門知識を身につけ、社会学の理解をより深める ・現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ		・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活用し、卒業リポートを完成させる ・プレゼンテーション能力を身につける ・コミュニケーション能力を身につける		

現代社会学科<情報・メディアコース>

第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		ディプロマ・ポリシー
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	

＜学部基幹科目＞
・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける

- ・公共性と社会
- ・現代社会論
- ・現代思想
- ・環境社会システム論
- ・20世紀の歴史
- ・現代日本社会史
- ・現代市民論

＜学科基礎科目＞
・社会学の基礎的知識・視点を身につける

- アカデミック・スキルズ
- ・社会学史（古典）
- ・社会学史（現代）
- ・現代社会学講読
- ・社会学原論
- ・社会思想史
- ・社会心理学
- ・家族社会学
- ・文化人類学
- ・コミュニケーションと社会
- ・社会調査論1
- ・現代社会学特殊講義1
- ・現代社会学外国文献研究1
- ・社会調査論2
- ・現代社会学特殊講義2
- ・現代社会学外国文献研究2

＜学科専攻科目＞
［共通］
・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける
・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活かし、卒業リポートを完成させる

- ・現代社会学ゼミ1
- ・現代社会学ゼミ2
- ・現代社会学卒業研究ゼミ1
- ・現代社会学卒業研究ゼミ2
- ・卒業リポート

＜学科専攻科目＞
［文化・国際コース］
・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・文化社会学
- ・国際社会論
- ・現代文化論
- ・消費文化論
- ・社会意識論
- ・宗教社会学
- ・現代宗教論
- ・現代国家論
- ・異文化理解
- ・エリアスタディ
- ・グローバル化論
- ・文化国際特殊講義1～4

＜学科専攻科目＞
［共生・臨床社会コース］
・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・共生の社会学
- ・臨床社会学
- ・社会階層論
- ・ジェンダー論
- ・マイノリティ論
- ・社会病理学
- ・逸脱行動論
- ・家族病理と臨床
- ・学校病理と臨床
- ・地域病理と臨床
- ・保健医療社会学
- ・カウンセリング論
- ・共生・臨床社会特殊講義1～4

＜学科専攻科目＞
［情報・メディアコース］
・各コースの専門知識を身につけ、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

- ・情報・メディアとコミュニケーション
- ・情報社会論
- ・マスコミ論
- ・地域情報論
- ・広告・広報論
- ・メディア・リテラシー
- ・デジタル・メディア論
- ・メディア文化論
- ・情報通信ネットワーク論
- ・情報システム論
- ・情報・メディア特殊講義1～4
- ・情報・メディア実習1
- ・情報・メディア実習2

＜関連科目＞
・社会学に関連する知識や考え方を学ぶ

- ・日本史概論
- ・東洋史概論
- ・西洋史概論
- ・社会学概論
- ・法律学概論1
- ・倫理学概論
- ・宗教学概論
- ・経済学概論
- ・コンピューター論
- ・国際政治学
- ・日本仏教史（古代・中世）
- ・中国仏教史
- ・日本史特論
- ・法律学概論2
- ・哲学概論
- ・日本仏教史（鎌倉以降）
- ・人文地理学1
- ・自然地理学1
- ・地誌学1
- ・プロジェクト演習
- ・基礎統計学1
- ・地域経済論
- ・NPO法人マネジメント論
- ・中小企業論
- ・女性史
- ・現代社会と女性
- ・情報産業と職業
- ・情報メディアと社会
- ・ジャーナリズム論
- ・放送論
- ・情報犯罪論
- ・京都の産業
- ・人文地理学2
- ・自然地理学2
- ・地誌学2
- ・基礎統計学2
- ・社会調査法演習1～2
- ・調査研究演習1、3
- ・グローカル人材PBL
- ・情報システム実習
- ・情報ビジネス
- ・情報通信ネットワーク実習
- ・データ解析演習
- ・調査研究演習2

・幅広い教養を獲得する
・専門分野を学ぶためのアカデミックスキルを身につける
・社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につける

・社会学の基礎的知識・視点を身につける
・各コース（「文化・国際」、「共生・臨床社会」、「情報・メディア」）の専門知識の基礎を身につける
・問題発見や課題解決のための方法を学ぶ

・各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につける
・各コースの専門知識を身につけ、社会学の理解をより深める
・現代社会の状況・諸課題、それへの対応策を学ぶ

・幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活用し、卒業リポートを完成させる
・プレゼンテーション能力を身につける
・コミュニケーション能力を身につける

＜社会学部ディプロマ・ポリシー＞
D1.社会学または公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる
①社会学または公共政策の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している
②社会学または公共政策の領域の深い知識や技能を修得している
③社会学または公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる
④社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる
D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、社会学または公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる
D3.目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる

＜現代社会学科ディプロマ・ポリシー＞
D1.社会学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる
①変転する現代社会の多様な現象や問題に対して、自己を見失わず常識にとらわれない柔軟な見方ができるよう、社会学の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している
②グローバル化し多文化が共存する世界の中で、異なる文化や宗教に開かれた態度をとり、地域の課題に的確な判断を下すことができるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現すること
ができる
③差別やマイノリティをめぐる課題など、多様な社会問題について幅広い知見を有し、共生社会の実現に寄与できるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる
④現代社会で必要な情報リテラシーを身につけ、情報の賢明な受け手および送り手としてコミュニケーションできるよう、社会学の領域の深い知識や技能を修得・活用し、分析・表現することができる

＜現代社会学科ディプロマ・ポリシー＞
D2.社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる
D3.目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる